診療所開設許可申請書

年 月 日

和歌山県知事 様

開	住所	〒 電話番号	
設 者	(ふりがな) 氏 名	(1)	Ď

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入)

下記のとおり診療所の開設をしたいので、医療法(昭和 23 年法律第 205 号)第 7 条第 1 項の規定により申請します。

記

1 診療所の名称及び開設の場所

(ふりがな) 名 称	
開設の場所	〒 電話番号

2 診療を行おうとする科目

3 開設の目的及び維持の方法

_			

- 4 医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の従業者の定員
- (1) 従業者の定員 [単位:人]

	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	助産師	栄養士	診療放射線技師	診療 X線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	臨床工学技士	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	義肢装具士	歯科衛生士	歯科技工士	看護補助者	その他	事務職員	合計
常勤																						
非常勤																						
計																						

(2) 従業予定者名簿

別紙のとおり

5 敷地の面積及び平面図

m² (敷地の平面図は別紙のとおり)

6 敷地周囲の見取図

別紙のとおり

- 7 建物の構造概要及び平面図
- (1) 建物の構造概要

主	要	構	造		階	数		建	築	面	積	延	床	面	積
			造	地上	階、	地下	階				m²				m²
	アラファック	部を使	更用				造	階建*	ての	ß	皆部分	延床面	積		m²

(2) 廊下の構造

階別	片側廊下	中央廊下	階別	片 側 廊 下	中央廊下
絜	cm	cm	階	cm	cm
階	cm	cm	階	cm	cm

注:中央廊下とは、その両側に患者の使用する居室がある廊下をいう。

※居室…居住、執務、作業、集会、娯楽、その他これらに類する目的のために継続的に使用する室

(3) 階段の構造 (第2階以上の階に病室を有する場合に記載)

種 別	階段及び踊場の幅	けあげ幅	踏 面		手すりの有無	病室のある階
屋内直通	cm	cm	c	m	有 · 無	階
屋内直通	cm	cm	c	m	有 · 無	階
	cm	cm	c	m	有 · 無	階
	cm	cm	c	m	有 · 無	階
エレベーター		有 •	無			階

(4) 病床萎	X
---------	---

床

(5) 入院施設の構造

種別	階別	室番号	病床数	1 室 の 総床面積	1 室 の 有効床面積	1 人当たり 有効床面積	1 室 の 採光面積	1室の外気 開放面積
	階		床	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	階		床	m²	m²	m²	m²	m²
	階		床	m²	m²	m²	m²	m²
	階		床	m²	m²	m²	m²	m²
	階		床	m²	m²	m²	m²	m²
	階		床	m²	m²	m²	m²	m²
言	+	室	床	m²	m²			

注:「種別」には、「一般」「療養」「精神」「感染症」「結核」のいずれかの病床種別を記入すること。

(6) 一般施設の概要

別紙のとおり

(7) 平面図

別紙のとおり

注:各室の用途を示し、各病室の病床数及び病床種別を明示した図面とすること。

8 主要な施設の構造設備の概要

(1) 診察室

診察室名	床 面 積	処置室兼用の場合の該当面積	備考
	m²	m²	
	m²	m²	
	m²	m²	

(2) 処置室

処	置	室	名	床	面	積		処	置	室	名	床	面	積	
							m²								m^2
							m²								m²

(3) エックス線装置

エックス線使用室名	床面積	操作室	エックス線装置 製 作 者 名	型式	台数	用途
	m²	m^2			行	
	m²	m²			台	
	m²	m²			台	

(4) 調剤所

床面積	採光・換気の状況	冷暗所の有無	調剤に必要な器具	
m²		有 • 無	感量 10mg のてんびん 感量 500mg の上皿てんびん その他	台台
		()	()

9 歯科技工室の構造設備の概要

床 面 積	構道	告 設 備	の	概	要	防じん・防火設備の概要
m²						

- 10 定款、寄附行為又は条例(開設者が法人である場合に記載) 別添のとおり
- 11 開設予定年月日

年 月 日

添付書類

- 1 麻酔科を標榜しようとする場合は、麻酔科標榜許可書の写し
- 2 歯科技工室を設けようとする場合は、主要設備を明示した図面